

「教育的ニーズの整理」演習シート 演習：それぞれの障がいの状態等に最もあてはまる指導と支援を表の中から記号を選んで書きましょう。

<p>【観点①】 障がいの<b>状態</b>等の 把握</p>	<p>今、聞いたことを記憶に留めておくこと が苦手で、話を正確に聞き取ることが 難しい。</p>	<p>【観点①】 障がいの<b>状態</b>等の 把握</p>	<p>左右の手を同時に使って操作するこ とが難しく手先の不器さがある。はさみを 使って、線に沿って切ることが苦手。</p>
<p>【観点②】 特別な<b>指導</b>内容</p>		<p>【観点②】 特別な<b>指導</b>内容</p>	
<p>【観点③】 教育上の合理的配慮を含む 必要な<b>支援</b>の内容</p>		<p>【観点③】 教育上の合理的配慮を含む 必要な<b>支援</b>の内容</p>	

<p>【観点①】 障がいの<b>状態</b>等の 把握</p>	<p>他者の気持ちを想像することが苦手 で、思ったことをストレートに伝えてし まい、トラブルになる。</p>	<p>ア 補助具を準備する。</p>
<p>【観点②】 特別な<b>指導</b>内容</p>		<p>イ 言われたときの相手の気持ちを想像できるようにする。 相手への伝え方を知る。</p>
<p>【観点③】 教育上の合理的配慮を含む 必要な<b>支援</b>の内容</p>		<p>ウ クイズゲーム等を通して、楽しみながら話を覚えておくコツを 身に付ける。確認する習慣を身に付ける。</p>
		<p>エ 親指、人差し指、中指の力加減を調節しながら使えるようす る。</p>
		<p>オ 話合い活動のときに、グルーピングを配慮する。</p>
		<p>カ 短い言葉で指示をする。視覚的な手がかりを提示する。</p>